

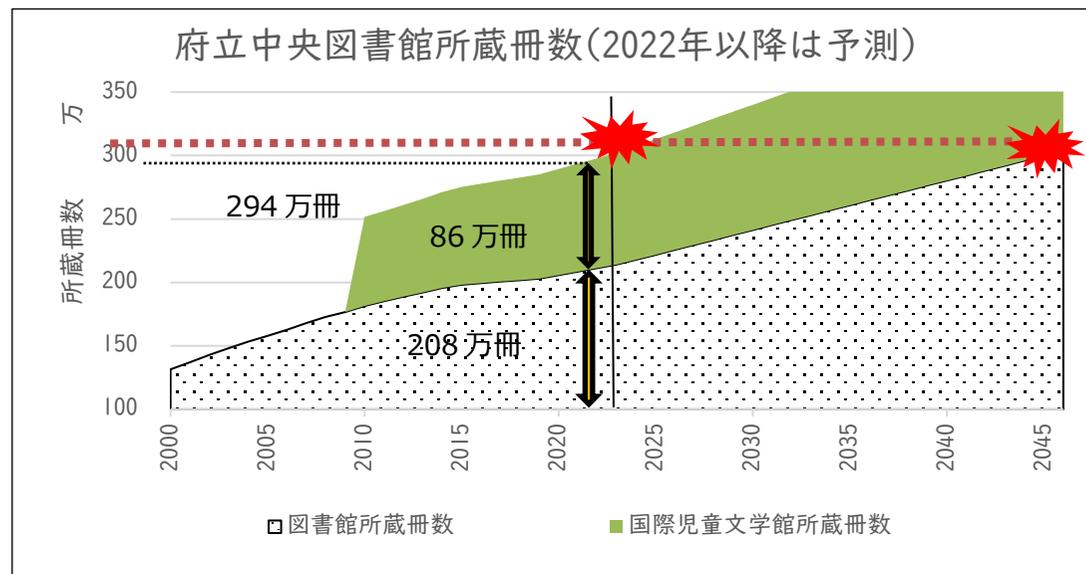
1. 中央図書館 書庫改修工事（基本設計・実施設計）について

資料①

開館当初の想定 中央図書館開館（中之島図書館と夕陽丘図書館の蔵書に移転）開館後約 50 年間の収蔵能力を確保

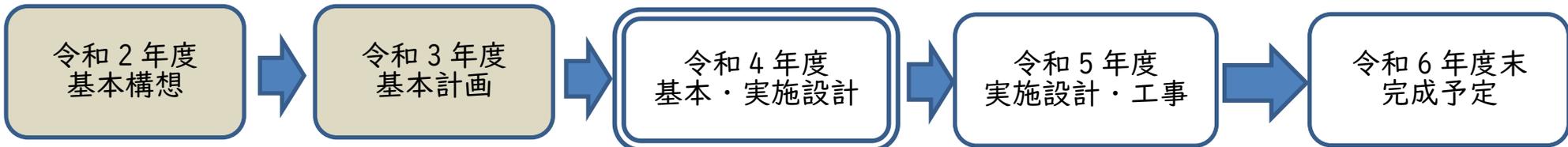


H22 (2010) に当初想定になかった国際児童文学館移転により約 70 万冊増加、現在約 86 万冊。約 20 年分の図書館分の収蔵能力を使用。



対応方針 : R6.2 に収蔵能力限界を迎える書庫問題解決のため、地下2階の駐車場を書庫化し、収蔵能力の確保を実現する

書庫改修のスケジュール



2. 中央図書館 特定天井改修工事について

資料①

平成 26 年度、府公共建築室が実施した調査において、当館エントランスホール及びライティホールの天井が『特定天井』に該当することが判明したため、耐震対策としての特定天井改修工事を実施することとなった。

【これまでの経過】

- 令和元及び2年度 基本設計実施
- 令和3年度 実施設計実施
- 令和4年度 改修工事開始

(令和5年1月末完成予定)

◎特定天井とは・・・

「脱落によって重大な危害を生ずる恐れがある天井」

のことで、次の全てに該当するものが特定天井。

- ・吊り天井（直天井は、特定天井に該当しない。）
- ・天井の高さ：6 m超
- ・面積：200 m²超
- ・質量：2 kg/m²超
- ・人が日常利用する場所に設置されている。

1階平面図



※ ①ライティホールについては、本年6月より完全閉鎖。

※ 館内工事については、夜間及び休館日に工事を実施。

※ 週1回、関係者と詳細な打ち合わせを行い、日中の来館者の安心・安全の確保に努めている。

※ ②正面エントランス前広場の路面補修も同時に実施。